



5月7日(木)、令和8年度第1回富良野西中学校コミュニティスクール協議会(以下「西中CS」)を開催いたしました。学校や家庭、地域が一体となり、より良い教育の実現に取り組み、地域のニーズを学校運営に反映させるために活動しています。今回の会議では、近内教育長と学びのまち推進課奥田課長、上川教育局社会教育指導班佐藤主査を迎え、次の内容について協議しましたので、お知らせいたします。

1 協議事項

「西中CS役員名簿(令和8年4月1日～)」

(1) 令和8年度富良野西中学校経営方針

経営方針を改めて確認いたしました。特に、重点目標である、自らの人生を舵取りできるようになるために、理由や根拠を明確に表現する力を身に付けられるよう、富良野西中の教育が目指す姿についてグランドデザインを参照しながら説明がなされました。

(2) CS協議会の概要と今年度の取り組み

今年度のCS協議会も3回の開催を予定しております。学校評価や学校課題を共有し、参観日にも参加していただき、今後ご助言やご指導、学校行事へのご協力を依頼いたしました。

(3) 体育大会について

子どもたちが集団への所属感や連帯感が深まり、適切に判断をして行動できることを目的として、頑張り合う姿を見ていただきたいと説明がなされました。また、今年度からの変更にともない、競技種目と平日開催の説明がなされました。

2 情報交流

(1) 自転車通学に関わり、乗り方について生徒の様子を伺いました。

(2) 安全確保のために、国道側のフェンスを一部取り除き、新たに駐輪場までの道を確保いたしました。しかし、道が悪いため、整備する方法はないか話し合いがもたれ、情報を交流いたしました。

(3) 第2学年が実施する職業体験事業所への協力を依頼いたしました。

(4) いじめ対策推進法や富良野市の条例も踏まえて、学校でのいじめ対策やネットトラブルについて説明がなされました。また、地域で行き過ぎた行為が見受けられた場合の情報提供をお願いいたしました。

3 上川教育局社会教育指導班佐藤主査より講評をいただきました。

体育大会の協議では、子どもたちの中で主体的な活動を経験していないと絆が深まったかどうか考えることができないため、連帯感を深めるために大人に知恵を絞っていただき、学校行事が難しいのであればCSを通じて地域の中で取り組むことも可能ではないかとご助言をいただきました。また、学校の環境整備につきましては、CSイメージ図を参照しながら、PTAや同窓会、地域住民が関わるチームを生かしてほしいと講評があり、地域以外にもサポート事業などの機関などを教えていただきました。

	役職	氏名	備考
1	会長	青木 賢亮	学校評議委員
2	副会長	佐藤 健治	学校評議委員
3	委員	山内 孝夫	学校評議委員
4	委員	糠谷 由起子	学校評議委員
5	委員	津山 正樹	教育委員
6	委員	菅原 孝幸	元PTA副会長
7	委員	山本 祥三	桂木・北斗連合町内会長
8	委員	山本 英恵	主任児童委員
9	委員	高橋 静	主任児童委員
10	委員	宮西 久子	民生委員
11	委員	里 直樹	令和5年度山部小PTA会長
12	委員	小河 寛子	PTA会長
13	委員	加藤 幸一	校長
14	委員	松原 光利	教頭
15	委員	下村 望	教諭

